



会員企業をたずねる

女性の力、女性の声

このコーナーは、会員企業をたずね、物流業界で働く女性社員に業務内容や、職場の取り組み、個人の抱負などを語ってもらうコーナーです。



第23回

日本貨物鉄道株式会社(JR貨物)

関東支社

越谷貨物ターミナル駅

助役

木村 奈緒さん

PROFILE

2008年入社、北海道支社苫小牧駅に配属されフロント業務を担当後、翌年苫小牧営業支店。2010年から5年間は北海道支社総務部で採用教育、人事を担当。2015年本社総務部採用・教育グループ。2018年10月から現職。神奈川県出身。

皆の模範となるべく自らを律する

——現在の業務について教えてください。

貨物ターミナル駅では、コンテナ列車の入換作業、トラックから貨物列車の積卸し、貨物列車を発車させるための検査等を行っており、その中で営業助役の仕事を一言で表すと、人とモノの管理になると思います。フロント業務に従事している社員および、その他設備等の管理業務です。デスクワークが中心ですが、駅の構内を巡回したり、フォークリフトオペレーターや構内にある利用運送事業者様との打ち合わせも多いので、外に出ることも多いです。

——助役になられて、意識の変化はありましたか。

管理者は皆から見られる立場であり、だからこそ、皆の手本になるよう自らの言動に配慮しなければいけないことを実感しています。現在、女性の助役は私一人。女性だからどうというわけではないと思いますが、このような記事にも取り上げていただいているのでなおさらそう思います。もともと当社は男性が多いのですが、私が入社したころに比べ女性も増えてきました。同年代でも出産を終え復職した同期や管理者もいます。私も後進のことを意識しなければいけないと思っています。

——やりがいを感じる時はどんなときですか。

当駅では何か問題が生じると、皆で相談し合い解決策を考えます。「自分がやります」と率先して手を挙げてくれる社員も多いですね。日ごろからコミュニケーションが良く、良い社員に囲まれていることに幸せを感じます。大勢の社員がいる当社にはさまざまな個性を持った人が集まっていますが、いざとなったら一致団結するマインドがありますし、社内の雰囲気も温かく感じます。そうした職場で働けることもやりがいになっています。

社員の成長をサポート

——管理者として、心がけていることを教えてください。

安全な職場づくりを追求し、事故を起こさせないことが管理者の役割だと考えています。心身の健康は安全を保つ大きな要因の一つですから、日ごろからコミュニケーションをとって話しやすい雰囲気をつくるとともに、社員の声に耳を傾けるよう心がけてい



ます。また、社員の成長をサポートすることも使命の一つ。社員には、社会人としてのスキルや知識を身につけてほしいですし、私も全力で応援したいと思っています。

——忙しい日々の中、オフタイムの過ごし方を教えてください。

高校生のときに、子供のころに習っていたクラシックバレエを復活して以来細々と続けています。今も週に1回、昔通っていた地元の教室に通っています。一緒に習っていた同年代の友人にも会えるので、行くたびにリフレッシュしています。衛生管理者の資格取得のため勉強中なのですが、バレエ教室の行き帰りも貴重な勉強時間になっています。

——今後の抱負を教えてください。

まずは今の目の前にあることに真摯に取り組んでいきたいと考えています。規程の勉強、業務の効率化、ほかの職場の見学などやりたいことは山積していますので、プライオリティを見極めながら着手していきたいと思っています。

——物流業界で働く女性の皆さんにアドバイスをお願いします。

人生100年時代と言われている中、自分がどう生きたいか、そのためにどうしたらいいか、今何をすべきかを考えることが大切だと思います。先ほど社員に社会人としてのスキルを身に付けてほしいと話しましたが、自分のいる職場が社会の基準ではな



本社時代の懇親会で



バレエの発表会で踊る木村さん

いことを意識してほしいと思っています。いろいろな考え方、生き方が過去に比べると理解されやすくなっていると思いますので、互いの考え方を認め合い大事にする環境が、職場から会社へ、そして社会に広がっていけば良いと思っています。これから物流業界を支える女性の皆さんにも、広い視野を持ち挑戦して欲しいですね。

——ありがとうございました。

会社概要

日本貨物鉄道株式会社

本社：東京都渋谷区千駄ヶ谷5-33-8

設立：1987年4月1日

資本金：190億円

従業員数：5,402名（2019年4月1日現在）

代表者：代表取締役社長兼社長執行役員 真貝 康一

【事業概要】

JR貨物は全国ネットワークを有する国内唯一の貨物鉄道会社。「Challenge and Change 挑戦、そして変革」をブランドメッセージとし、日本の経済・社会を支える重要な産業関連物資や生活関連物資の輸送を行うとともに、災害時におけるライフラインとしての役割も果たしている。また、物流施設等不動産事業にも積極的に取り組み、鉄道を基軸とした総合物流企業を目指している。現在、東京貨物ターミナル駅構内に、マルチテナント型大規模物流施設「東京レールゲートWEST・EAST」を建設している。

